

平成29年度 関東ローバーの集い 実施報告書



作成：関東ローバーの集い実行委員会

- **主催:**全国ローバースカウト会議 関東ローバーの集い実行委員会
実行委員長 RCJ関東ブロック代表 東京連盟 木村直登
構成員 平成29年度関東ブロックRCJ県代表
- **テーマ:**Rovering to Success
- **イベントの目的**
 - ・関東ブロック内のローバースカウトおよびローバー年代の指導者の交流を促す
 - ・参加者個々人のローバーリングに対する理解を深める機会を提供する
- **会場:**那須野営場
- **イベント期間**
2018年(平成30年)3月10日(土)～12(月) 2泊3日(舎営)
- **参加者**
17名(これに加え実行委員7名)
- **参加費**
5000円
- **報告用動画**
<https://www.youtube.com/watch?v=PIC1dbik5uU>

日数	日程	主な行事	午前	午後	夜間
前日	3月9日(金)	大会運営スタッフ入場・設営	大会運営スタッフ入場・設営		準備作業
第1日	3月10日(土)	参加者入場・開会式	準備作業	開会式 スキルレース	鍋会
第2日	3月11日(日)	フォーラム	基調講演 活動報告会	フォーラム	キャンプファイヤ
第3日	3月12日(月)	奉仕活動	奉仕活動	解散	

実行委員紹介

氏名	担当	所属	備考
木村 直登	実行委員長	東京連盟昭島第1団	
加藤 勇汰	生活担当	群馬県連盟高崎第18団	
藤本 佳奈子	生活担当	茨城県連盟日立第8団	
平子 巧	スキルレース	神奈川連盟藤沢第21団	
泉田 駿	フォーラム	埼玉県連盟熊谷第2団	
坂本 尚己	奉仕活動	山梨連盟甲府第7団	
小泉 由輝	プログラム	千葉県連盟上総地区茂原第2団	当日欠席
中山 堯登	プログラム	千葉県連盟印西白井第1団	



目的に対する評価反省

● イベントの目的

- ・関東ブロック内のローバースカウトおよびローバー年代の指導者の交流を促す
- ・参加者個々人のローバーリングに対する理解を深める機会を提供する

● 評価・反省

- ・初対面の人も多く、他県連盟のスカウトと交流する場所を提供できたのに加え、参加者人数が少なかつたために濃密な交流を促すことができたと評価できる
- ・アンケートを鑑みても参加者の9割型のローバーリングに対する理解を深められたと評価できる。プログラムの構成により、ローバーリングを学んで実践する機会を提供することができた。

参加章について

本企画では参加者の満足度を増加させるため、ゼリーカップとフェルトを用いて中折れ帽の形をした参加章を作成した。しかし作製決定が実施間近であったことから、準備・試作が不足し、実行委員に負荷をかける形となってしまった。



日程設定について

本企画の日程は昨年度のブロックイベントの開催時期に近い時期を考慮しつつ、ローバー年代が大学生ということもあり大学の春休みかつ、社会人の参加を考慮し土日を含んだ3日とした。しかし、就職活動と被ってしまったということより参加を断念する人も見られた。

参加者名簿

所属県連盟	所属団	氏名
東京	大田第1団	田中莉緒
	杉並第3団	内田椋太
	葛飾第3団	小林潤平
埼玉	草加第3団	草間明浩
神奈川	横浜第61団	三橋明莉
	横浜第83団	和田高志
	横浜第87団	渡邊亮太
	横浜第130団	近藤恭平
	鎌倉第2団	安部京
	葉山第1団	鈴木隆大
	川崎第38団	天谷知華子
	川崎第39団	堀田日菜子
	横須賀第4団	山岸野明
群馬	群馬町第1団	有澤祐香
千葉	柏第1団	豊島春子
	柏第1団	青木美德
	市原第3団	花房彩花

タイムスケジュール

3月10日(土)

時刻	内容	場所
12:00	受付開始	研修棟ホール
12:30	受付終了	
12:45	開会式	カブ広場
13:00	オリエンテーション 休憩、自由行動	研修棟ホール
13:30	スキルレース	カブ広場
17:30	プログラム終了	
18:30	鍋会開始	研修棟ホール
20:30	鍋会終了、自由時間	
21:00	班長会議	研修棟ホール
21:30	スタッフ会議	研修棟ホール
22:00	消灯	

3月11日(日)

時刻	内容	
6:00	スタッフ起床	
7:00	朝食	研修棟ホール
8:30	朝礼	カブ広場
9:00	基調講演	研修棟ホール
10:00	活動報告会	研修棟ホール
11:30	昼食	研修棟ホール
12:30	フォーラム	研修棟ホール
17:30	プログラム終了	
18:00	夕食	研修棟ホール
19:00	キャンプファイヤー準備時間	
19:30	キャンプファイヤー	六角堂

20:30	キャンプファイヤー終了	
21:00	班長会議	研修棟ホール
22:00	スタッフ会議	研修棟ホール
22:30	消灯	

3月12日(月)

時刻	内容	
6:00	スタッフ起床	
7:00	朝食	研修棟ホール
8:30	朝礼	
9:00	野営場奉仕	野営場内
11:00	撤営開始	各班掃除担当場所
12:00	徹営完了	
12:30	閉会式	カブ広場
13:00	解散	

献立

	朝	昼	夜
3月10日(土)	—	—	鍋
3月11日(日)	ホットドック	焼きそば	ビーフシチュー
3月12日(月)	サンドイッチ	—	—

各プログラムの振り返り

〈1日目〉

・スキルレース 担当:平子、中山

スカウトスキルを使った野外活動として、水濾過レースやパイニアリングカートレースなど、スカウトスキルを必要とする様々なレースを行い、その結果によって獲得できるコインで夕食の競りを行なった。なお、活動は生活班で行った。

実施後、参加者からの声を聞くとスカウトスキルを用いた高度な活動として楽しんでいただけたことが確認された。しかし、濾過レースで事前準備が不足していたこと、スカウトスキルレースでルールに穴があったこと、競で所持するコインの差が過度に大きかったことなど改善点も多くみられた。一方、事前準備を余裕を持って終了することができなかったことも改善する必要がある。大型構造物作製を断念し、一から企画を練り直したことが大きな原因だが、今後は企画時点で実行委員・参加者の特性からプログラムの現実性や実施にける問題点を吟味する必要がある。

〈2日目〉

・基調講演

本集いのテーマである "Rovering to Sccess" に基づき、お話をいただいた。「RS年代の目標」、「自分のカヌーは自分で漕げ」の実践、講演者の考えるRoveringとその達成についてをこれまでの活動を踏まえ、お話してもらった。講演者は平成28年度RCJ関東ブロック代表の山岸様に依頼した。アンケートからも満足度がとても高く、講演内容もとても素晴らしかった。しかし、基調講演の担当がはっきりしていなかったことより講演者に依頼するのが遅くなってしまった。打ち合わせ等もギリギリになってしまったことが反省点として挙げられる。

・活動報告会

報告団体を募り、活動報告会を行ってもらった。参加者に様々な活動を関東ブロックをはじめとするRS年代がやっていることを知ってもらった。発表は1団体ごとに15分(質疑応答含む)ずつ行った。

〈発表内容〉

No	タイトル	発表者名
1	RCJとは	木村
2	Re:Questのお知らせ	内田
3	台湾ナショナル・ローバー・カンファレンス	安部
4	Youth Scouting of Kanagawa	平子
5	第15回世界スカウトムート	泉田
6	埼玉県ユース会議	草間
7	第13回世界スカウトユースフォーラム	木村

Re:Questのお知らせが急遽入ることになり、時間の調整を怠ったばかりに大幅に時間をオーバーしてしまい、その後の講演の時間が短くなってしまったり、質疑応答の時間が短くなってしまった。海外派遣や県規模の活動報告のみになってしまい、各スカウトが所属する一番身近な「隊」の報告がなかったのは残念だった。また活動報告団体の募集及び依頼も遅くなってしまったことが報告団体数が少なかったことの原因とも考えられる。どんな活動報告を聞きたいのかをあらかじめ参加者に聞いてもいいのかもしれない。

・フォーラム 担当: 泉田

今回のフォーラムはRovering to Successの中の主にSuccessに注目した内容を展開した。Successを考えていくにあたって3つの時間に分けて展開した。

[1] Roveringの時間: これまでの活動、基調講演、活動報告会より各自のローバーリングの検討

[2] Successの時間: 「Success＝成功＝計画などがうまくいき達成すること」となっていることより、「達成」の部分具体化した。何が達成したから成功としたのかを重点的に出し合って共有した後に各自で各自のローバーリングに対して達成項目の具体化を行った。また、全体協議テーマを定めて問題解決を行った。

[3] toの時間: 各自の”Rovering”をどのようにすれば成功するのか、計画を立ててもらった。また、ワールドカフェで参加者同士で共有し合い、お互いにもっと良くするにはどうしたら良いかを協議した。

今回のフォーラムではテーマが個人で考えることに偏る傾向があったため、班、全体で考える内容を取り入れた。各班で活発な意見が多く出ていたことや各自のワークにおいても参加者がしっかりと考える場に来たことは良かった。しかし、班協議の内容を入れてしまったために内容が膨大となってしまう、各協議の時間が短くなってしまったことや休憩の時間を多く取ることができなかったことは反省点として挙げられた。また全体協議のテーマの決定の遅さやワークシートの内容が抽象的過ぎて書きにくいこと、アンケートからも全体で共有してほしいという声があったことなど多くの反省点も挙げられた。多くの反省点の大きな原因として準備の遅さが目立ってしまった。担当者の問題になるのかもしれないが、当日までのスケジュールリングを早めに出しておいてその計画通りにしっかりと進めていけるようにするなどでできればよかった。

次回のこのようなイベントで担当する方は、上記の反省点を参考にしてもらいつつも、参加者同士がより活発に意見を言って何かを決めていけるような場にしてもらいたい。

・キャンプファイヤ

各班からのスタンプを織り交ぜながら、一時間ほどキャンプファイヤを行った。担当を設けなかったために誰がこの企画を進めるかが曖昧となり、全体的に準備不足が感じられたプログラムである。特に、

・奉仕活動 担当: 坂本

奉仕活動内容報告書を提出させたことにより、僅かな時間ではあるが、奉仕活動について考えさせ、自発的な活動を促せた。実際は場長の指示が2班、独自の活動が1班であり、場長の指示に従うというのが逃げ道となることで完全なる自発的な奉仕活動と言えるかという点については厳しいところがある。

今後の課題として、奉仕活動を全体プログラムの中でどの程度重きを置くのかということがあげられる。

完全なる自発的な奉仕活動を行うためには今回のように少々の時間で奉仕内容を決め、実行するというのは難しい。しかしながらプログラムの中心に奉仕活動を置くことはローバーの集いの本質的な目標や狙いから逸脱するものになる。ボーイスカウトにおいて奉仕活動はなくてはならないものであり、今後も奉仕活動のあり方、ローバーの集いで奉仕活動のあり方は継続して熟考されたい。

その他の振り返りと評価反省

・生活担当 担当: 加藤、藤本

加藤

今回生活班として資材リストの作成や会計、参加者の健康管理、食事等生活における参加者の身の回りのことを主に担当した。資材リストや予算計画書の作成等事前の準備は他班と連携して取り組み、進めることができたが、生活班内での役割分担を決めず、対面等の直接会っての打ち合わせがほとんどなく取り組んだため、藤本さんとの情報共有や分業等の連携がうまくいかず、なかなか業務が進行しなかったことがあった。そのため、来年度実施の際には班の中であらかじめ大まかな役割を決めこまめな情報共有を行うことが大切である。

当日の業務では、受付や食事、健康管理などを行った。健康管理は事前に健康調査書の配布を行い当日も参加者の健康管理に勤めることができ、体調不良者等も出ず大会を終えることができた。しかし、受付では領収書を渡したかどうかの確認を名簿にチェックするのみの対応となってしまう、誰に領収書を切ったかの確認が一重となってしまった。そのため、領収書を半券形式にして二重の確認ができるようにすべきであったと感じた。食事は予算内に収めることができたが、米が炊けるかどうかの事前調査をせずパン食になってしまったことや予算を気にして量が少なめになってしまい、参加者が満足いく食事提供ができなかった。そのため、調理器具の事前調査や参加者の人数に応じた食事の量を作れるようにメニューの改善など臨機応変な対応をするべきであった。

最後に、至らぬ点はあったが、事前準備や当日業務では、同じ生活班の藤本さんを中心に他の実行委員や参加者の方々に支えていただき、大事なく関東ローバーの集いを終えることができたことをこの場を借りて感謝申し上げる。来年度またこのようなローバー同士が集まりローバーリングについて考える機会があることを切に願い、評価反省とする。

藤本

事前準備としては、去年運営経験者である加藤さんに頼ってしまい、あまり自分から進んで準備を進めることができなかった。2人以上で同じ役割を担う場合は、頻りに連絡を取り合って全員が同じくらい情報を共有している必要があると思った。

当日は、心配な部分も多くあったが協力して進めることが出来たと思う。アレルギーなどを考慮し食事を準備できたが、事後アンケートからもわかるように量が少なかったというのは反省点である。予算を踏まえつつ適切な量でバランスの取れた献立を作れるとよかったと思う。また参加費の徴収について、領収書の控えが実行委員側にあるべきだと思った。信頼問題にもつながるため、お金の管理はしっかりすべきだったと反省している。

来年度もこのようなイベントがあるとしたら、生活面では以上のことに特に気を付けていただき、さらに参加者に満足してもらえるものにしてもらえたらと思う。

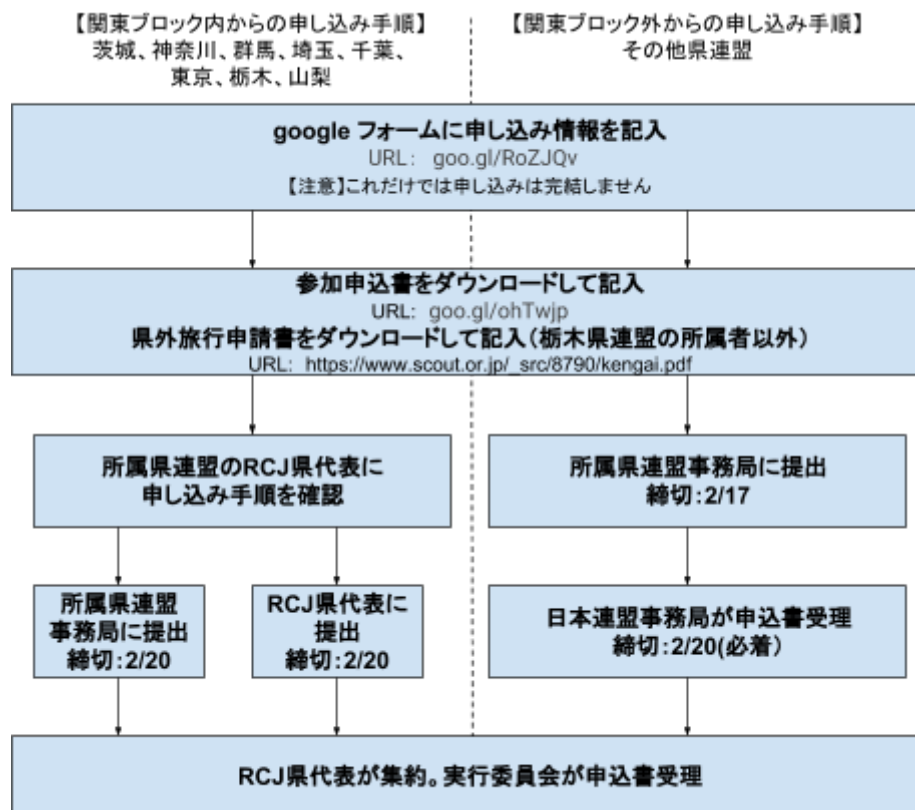
開催までの事務手続きについて

今回のイベントの開催に際し、5月の総会の時点から正式な枠組みでの開催実現のため、事務手続きには細心の注意を払って準備をしてきた。この背景には、複数の県連盟でイベントの承認がもらえずに開催することになってしまった過年度の反省がある。したがって、今年度初めて「RCJイベント」として正式な枠組みで開催する運びとなった。しかしながら、日本連盟事務局にとっても初めてのRCJイベントであり、事務手続きに大いに手間取り、結果的に参加申し込み期間が極端に短くなってしまった。次回からは本報告書をご活用頂き、事務手続きに手間取ることがないことを切に願う。

枠組み: RCJイベントであり、日本連盟主催というわけではない。イメージとしてはウッドバッジ研修所のイメージで、枠組みのみRCJイベントであるものの、実質的な運営およびその責任は一つの県連盟が担うこととなる。本年度は東京連盟よりブロック代表が選出されていたため、東京の県コミッショナーと日本連盟事務局で調整をして頂き、東京連盟でイベント実施の責任を持っていただいた。

手続き: 企画書、募集要綱、参加申込書フォーマットを日本連盟事務局に提出。責任を持つ県連盟の承認後に日本連盟事務局から発信してもらう

備考: 県外旅行申請書は実質不要だった模様。参加者個々人に県外旅行申請書を提出させる必要はない。



予算決算

概算(30人)		
収入の部		
項目	細目	金額
収入	参加費	130,620

支出の部		
項目	細目	金額
施設・設備	舎営費	55080
運搬	シーツ費	3,888
	暖房費	11,016
	ガス代(LPG)	3,499
	レンタカー	20,080
プログラム①(スキルレース)	砂	198
	炭	398
	麻紐	594
	ポンド	188
	アイロンプリント	398
	コイン	108
	マジックペンセット	427
プログラム④(フォーラム)	A4用紙	108
	模造紙	108
	付箋	324
	コピー費	128
	マッキー	648
プログラム⑦(キャンプファイヤー)	キャンドル	216
	薪	324
食事(60人分)	食費	25,095
その他	ゴミ袋	324
	クラッカー	324
	ガムテープ	108
	誕生日ケーキ	3,618
	雑費	3,421
合計		130,620

【所感】

木村直登

参加者が理論学習と実践の双方のアプローチでローバーリングを体系的に体で覚えることができるイベントの開催を目指し、運営準備を進めてきた。事後アンケートの結果や当日の参加者の雰囲気や鑑みる限り、良いイベントを開催でき、当初の目的も達成できたように概ね評価できる。

さて、関東ブロックでは代々ブロックイベントが行われており、今回の関東ローバーの集いは3度目のブロックイベントの開催となった。開催の度に事務手続き等に於いて様々な問題苛まれてきた関東ブロックであるが、三度目の正直で今回ようやく安定した正式事務手続きプロセスを確立する事ができた。前年度よりも参加者が減少してしまったなどの課題はあるものの、ブロックイベントを安定的に開催する事ができるようになったのは大きな進歩であろう。

そんな中での一番の反省は、日本連盟事務局および東京連盟との連携が円滑に行えず、結果として参加者募集期間が大幅に短くなってしまったことである。このイベントがRCJという枠組みで正式に行った初のブロックイベントということもあり、それぞれ手探りで事務手続きを進めることとなった。しかしながら過去の関東ブロックのイベントを鑑みれば、正式な枠組みでの開催に漕ぎ着けることができず、千葉県からの参加が認められないなど数々の問題が生じていたことを考えると、関東ローバーの集いの実施は大きな前進であると考えられる。今年度にブロックイベント開催時のある程度の事務プロセスが確立されたため、次年度からはスムーズな事務手続きが行えるようにしっかりと引き継ぎをしていきたい。

なお、私自身は実行委員長として他の実行委員のサポートや事務手続きの進行を担当するに留まったが、他の実行委員が熱意を持って業務に臨んでくれたため、全体的に質の高いプログラムを提供することができたように感じている。私個人としても、イベントを心から楽しむことができた。反省点は多々あるものの、実行委員会のメンバーたちと共に関東ローバーの集いを無事終えられたことをとても嬉しく思う。このイベントの開催にあたりお世話になった日本連盟、東京連盟、そして実行委員のみんな、遠方より那須野営場に足を運んでくださった参加者のみんな、全員にこの場を借りて心から感謝申し上げます。

加藤勇汰

はじめに、本集いの会の開催にあたってご協力くださった各県連盟の方々、浅野場長、参加者の皆様方、そして一緒に大会開催に向けて準備等をした実行委員の皆様方には、この場をお借りして深謝申し上げます。

本会は、「交流」と「ローバーリングについて理解を深めること」の2つを目的として開催され、私個人としては、「一人でも多くの県外のローバースカウトと交流する」「交流やプログラムを通してローバーリングについて自身の考えを見つめ直す」という目標をもって参加した。そのため、活動の中では、積極的に交流を行いながら、新たな仲間との交流を楽しみ、ローバーリングについての視野を広げることに勤めた。その結果、皆のローバーリングについての考え聞くことができ、私のローバーリングについての考えを見つめ直すことが出来たと感じている。また、生活班としては、各プログラムの振り返りでも述べたように本会の中で怪我や病気がなく参加者、実行委員の皆が健康に本会を終えることができたことは生活班として最大の喜びである。しかし、食事等まだまだ至らぬ点もあったので、今後の課題として受け止め、改善を図りたい。

最後に、本会を終え、生活班は宿泊施設の環境整備や食事などによって参加者、実行委員の生活を支える班であるため、スキルレースやフォーラム、奉仕活動のように本大会の目的である「ローバーリングの理解を深めること」に実行委員として直接寄与することは出来なかったことが心残りではあるが、生活班として藤本と食事や環境整備など運営の土台として本会を支えることで、本会の運営に携われたことは名誉であったと感じている。

藤本佳奈子

今回私は生活担当として運営に携わり、まず一番は大きな怪我人や病人が出ずに終えられたことだと感じている。個人的に良かった点は、準備段階で「資料リスト」作成を担当し、不明なところはその都度確認し全体的に抜けが無いように詰めることができた点である。イベント期間中においては、運営者であっても不調にすぐ気づけるように参加者とのコミュニケーションを大事にしようと決め、それを実行できた点である。私自身もたくさん参加者と交流できて楽しめた。反対に反省点としては、事前準備から当日まで運営経験のある

加藤さんに頼りきりだった点である。他にもいくつかあるが、総括すると、実行委員全体としては助け合ってひとつのイベントを作り上げることができたと思うが、私個人としてはもっと自分の仕事に責任を持ち、自分で考えて行動すべきだったと思う。今後は、次期代表をサポートしつつRCJに関わっていくことになるが、このブロックイベントを始めこの一年の経験を糧に、自分のローバーリングを見つめなおし、茨城県や関東のローバーのさらなる発展に寄与できればと思う。

平子巧

はじめに本企画にあたり協力くださった日本連盟・各県連盟の方々、浅場那須野営場場長、そして参加してくださった皆様に感謝いたします。また準備・実施に尽力いただいた実行委員の皆様にも深謝いたします。本企画は「交流」と「ローバーリングについて理解を深めること」を目的に開催された。この達成状況をプログラム担当の実行委員・RCJ神奈川県代表の2つの視点で評価する。私は実行委員として関東ブロックイベント初となるスカウトスキルを用いたプログラム、スカウトスキルレースを「参加者のクラフト技能・有能性を高め、交流を深めること」を目標として展開した。アンケートのプログラム満足度が平均4.16(5段階評価)であったことから参加者に楽しんでいただけたことが伺える。一方で、一部のスカウトから使用する技能のレベルをあげた方がいいとの声もあった。交流を深めることについては達成できたが参加者の有用性を高めることについては一部のスカウトで達成できなかったと考えられる。今後、スカウトスキルレースを改良して行く上で参考にする。本プログラム計画にあたり、根本的に解決できない問題があり苦悩したのでここに記す。参加人数が予想できないこと、参加者のスキルが明瞭でないこと、下見ができないことの3点だ。今回はそれを鑑み、人数が増減しても、スキルが多少差があっても、現地の状況が想定と異なっても行えるプログラムを計画した。解決方法として会場となっている県連盟、つながりの強い県連盟のローバーに企画を委託する方法が考えられるが、今後同様の企画を実施して行く場合には留意する必要がある。RCJ神奈川県代表としては本企画の神奈川県内宣伝に力を注いだ。結果、9名(昨年比2名増加)の参加があり宣伝活動は功を奏したと考えられる。ただ、地区ごとの参加人数比を見ると積極的に参加している地区と参加していない地区があるのが現状である。今後はそれを改善していけるように活動していきたい。最後に本企画のプログラム班として交流の機会と楽しさを提供できたこと、実行委員一丸となり有意義な企画を実施できたことを名誉に感じている。来年度も本企画の発展することを期待する。

泉田駿

本企画を無事に終わることができたのは日本連盟事務局、各都県連盟の関係者、那須野営場場長、参加者の皆様、実行委員の皆様をはじめとする多くの方の協力があったからこそでした。感謝を申し上げます。本企画の中で私は主に2日目のフォーラムを担当した。事後のアンケートより満足の声が多くあったことに作り上げてきた身としてとても嬉しく思う。自分自身、ローバーリングについてまだまだ考えの甘いところもあり、そのような状況で多くの参加者の前に立ってフォーラムを仕切っていくことには大きな不安もあった。当日は参加者みなさんの助けもあり、ほぼ時間通りに終わることができた。私自身も含め、ローバーリングについて考えるきっかけにできたことは今後の活動をしていく上でとても良かった。実行委員として参加しつつも本企画を楽しめたことは良かった。反省点としては、埼玉県からの参加者数が少なかったことや実行委員として他の内容の深いところまで見て意見を言えなかったことである。前者は私の広報不足が原因だと考えられる。多くの人に個人からしっかりとアプローチしていくべきであったと思う。今回の集いでは良いところも多くあったがこれから改善していくべき点も多く見受けられた。今後ブロックでイベントを行う際には少しずつ改善していきより質のいい企画になることを期待する。

坂本尚己

まず、今回の関東ローバーの集いを実施するために尽力くださった日本連盟事務局をはじめ、那須野営場場長、各都県連盟の関係者の皆様に感謝申し上げたい。ローバースカウトの年代は学業をはじめとする各々の私生活が忙しい時期でもあり、自身がローバースカウトであるということを常に意識して生活を送るということは難しいであろう。このような状況の中で自身がスカウトであると再認識する場の一つとしてRCJが存在するのであり、今回の関東ローバーの集いがあると私は考える。ボーイスカウトから距離を置きつつある同年代の多くのスカウトが再度スカウティングを取り戻してもらうために我々各都道府県連盟代表は尽力すべきでもある。しかしながら私自身を考えてみても山梨からRCJの活動へ動員できたスカウトはほとんどおらず、自身の考えと実績が伴わなかったことは反省したい。また、RCJの活動に参加するためには参加申請書においても自隊隊長から団委員長、事務局長の承認が必要である。よって指導者におけるRCJへの理解も

必要である。各都道府県連盟代表並びにRCJ運営委員会はRCJ活動の周知も必要不可欠である。次年度は山梨代表から外れることとなるが、ローバースカウト活動の発展、日本全体のボーイスカウトの発展に微力ながら貢献していく次第である。

小泉由輝

今回県代表として実行委員となりながらも、初任だったこと、当日参加出来ないことなど、反省点が多々あり、戦力になれなかったことが非常に申し訳ない気持ちでいっぱいだった。当日参加出来ずとも、積極的に平子スカウト、中山スカウトと連携を密に取り計画を立てていくことに協力出来たのではないかと猛省するばかりである。役割別の会議や話し合いの場を作れば、今回の反省を生かせるのではないかと考えている。千葉県代表として、今回千葉県連盟の参加を承認させるにあたって、本企画がどこの会議を通り、どこに承認され、責任の所在はどこなのか、など不明点が多いと指摘された。今後は、幹事県は、事前に県連総会などで予め年間計画に組み込んでもらい、その段階で承認を得るなど、早め早めの行動が理想だろうと感じた。ブロックという単位を日本連盟に承認してもらい、RCJ総会で年次計画に組み込んでもらうなども一つの手であろう。

中山亮登

今回の自分の立ち位置を明確に理解しておらず、また県代表の小泉さんと連絡を密に取っていなかったこともあり、計画・準備をほとんど平子さんに任せてしまいあまり戦力になれなかった。プログラム自体は大きな事故や怪我も無く参加者が満足できているようだったのが幸いであるが、参加人数が比較的小規模だったことや参加者が優しい方ばかりだったことであることを念頭に置く必要がある。このようなイベントをするときは、最低限各自が積極的に自分の任務を十分に理解しておく必要があると痛感したので、今後このようなイベントに参画する者には当たり前のことながら肝に銘じてほしい。

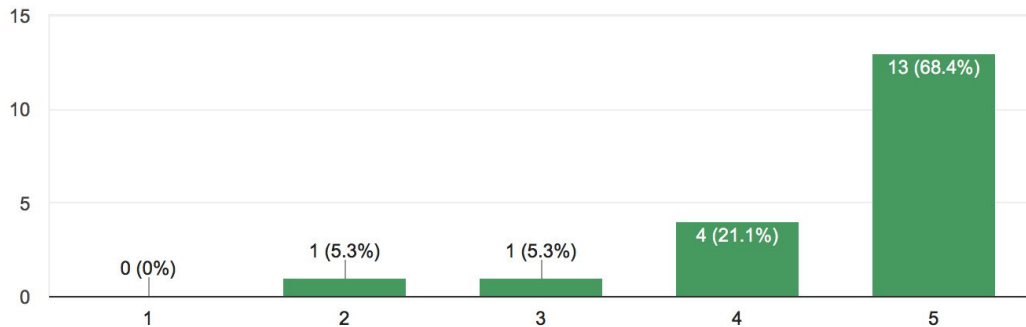
終わりに

本イベントは日本連盟事務局、東京連盟を始めとし、多方面からご協力を頂いて開催することができたものである。この場をお借りし衷心より御礼申し上げますと共に、RCJ関東ブロックの益々の発展を祈念し、この報告書の結びとする。

事後アンケートでの評価(参考)

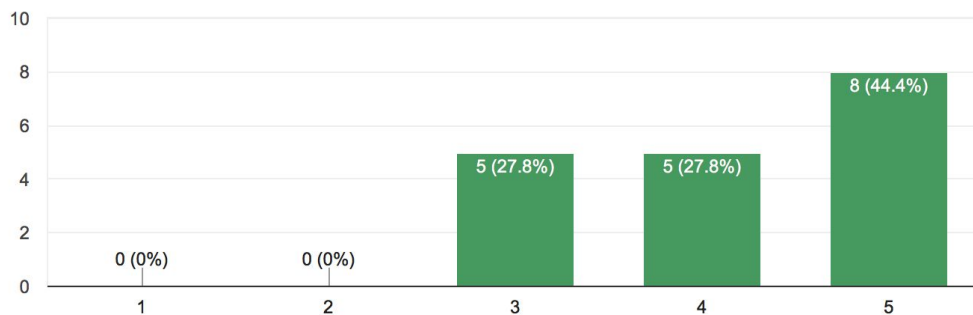
全体の満足度を教えてください

19件の回答



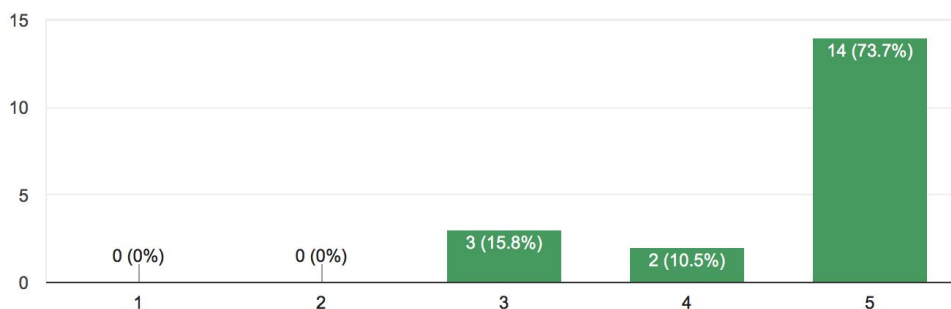
スキルレースに対する満足度を教えてください

18件の回答



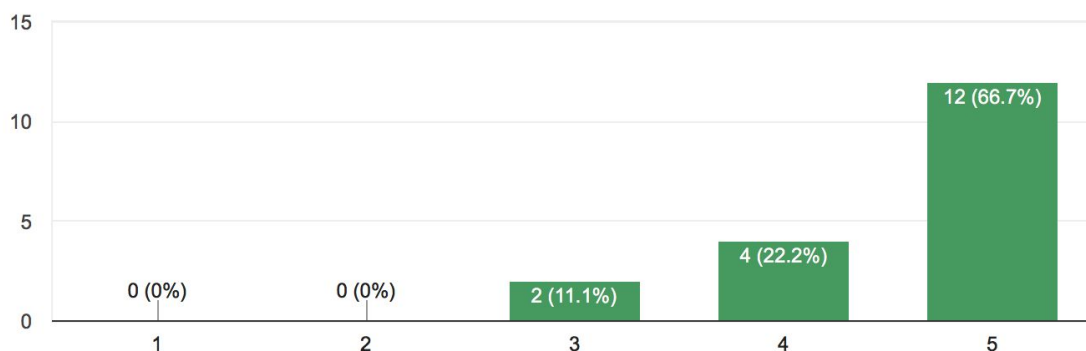
基調講演に対する満足度を教えてください

19件の回答



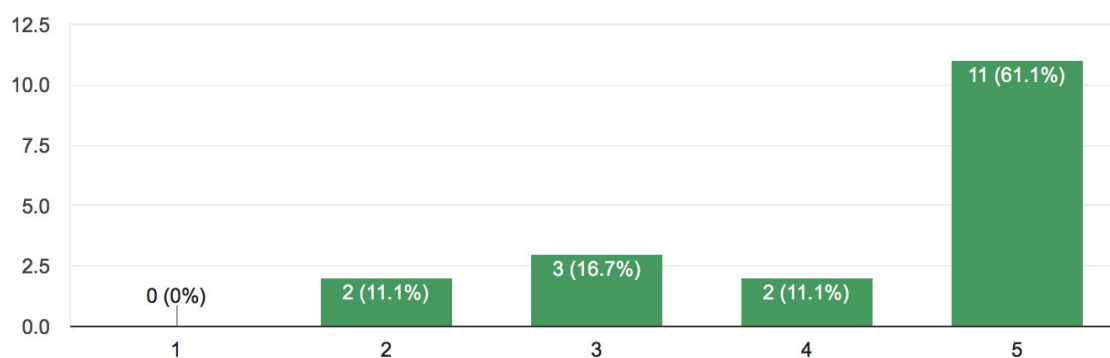
活動報告会に対する満足度を教えてください

18件の回答



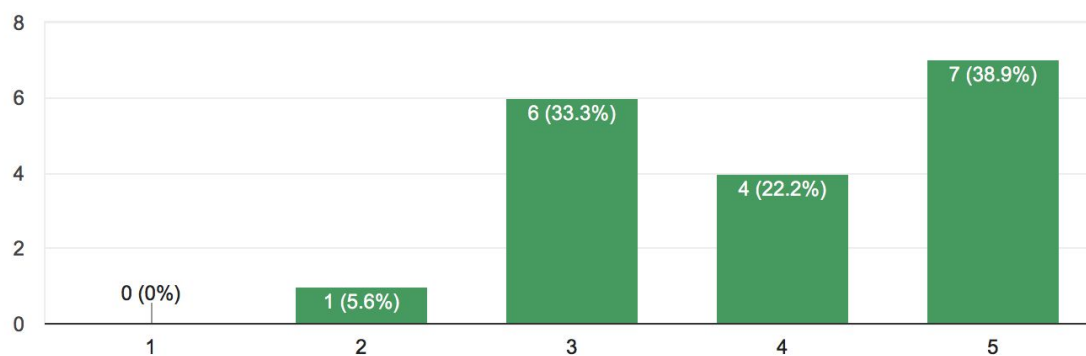
フォーラムに対する満足度を教えてください

18件の回答



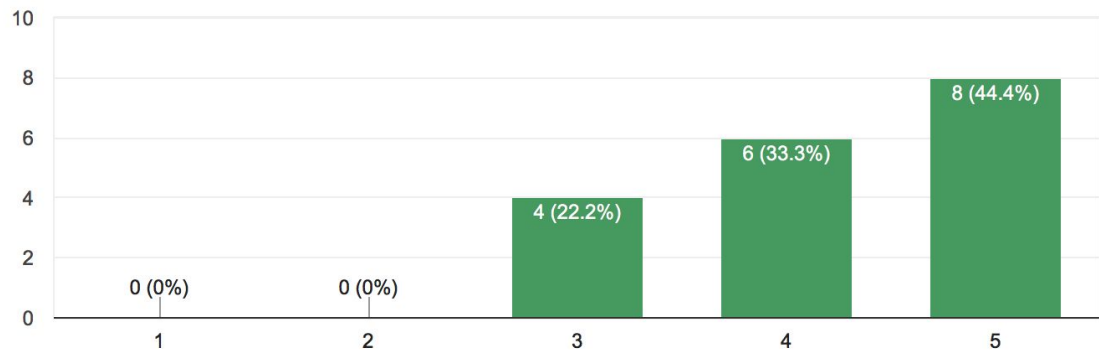
キャンプファイヤに対する満足度を教えてください

18件の回答



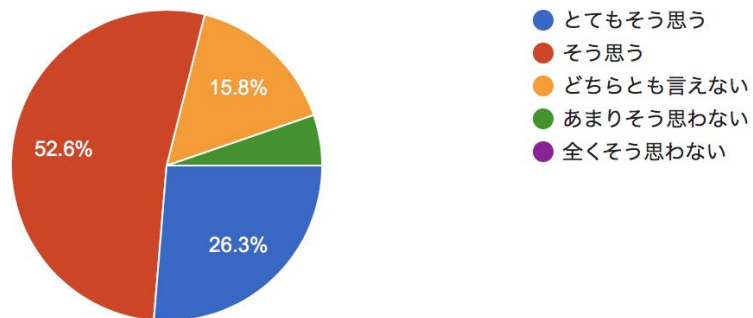
奉仕活動に対する満足度を教えてください

18件の回答



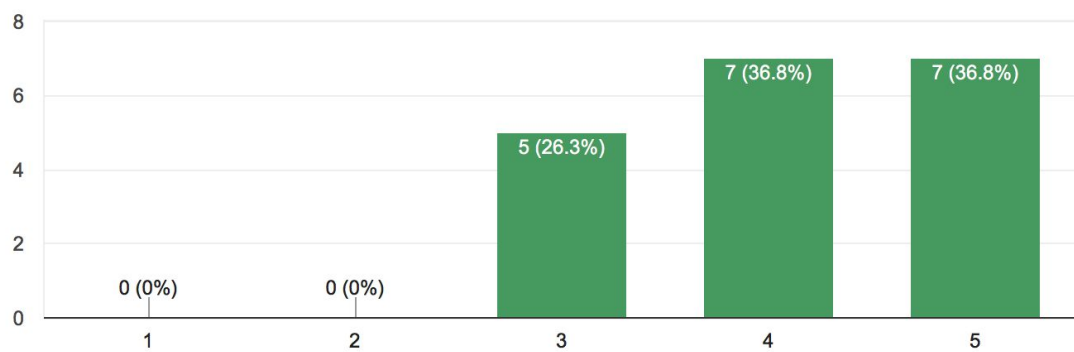
プログラムの時間配分は適切でしたか？

19件の回答



食事の満足度を教えてください

19件の回答



食事に対する感想

9件の回答

美味しくいただきましたが、量が若干少なく、炭水化物(パン)が多いと感じました。

もう少し量を増やして欲しかった

おいしかった！
けど、少し量が足りないのかなってかんじがしてました。

とても美味しかったです！

昨年度のムートよりもよかったです。

どの日もとても十分すぎるくらいおいしかったです

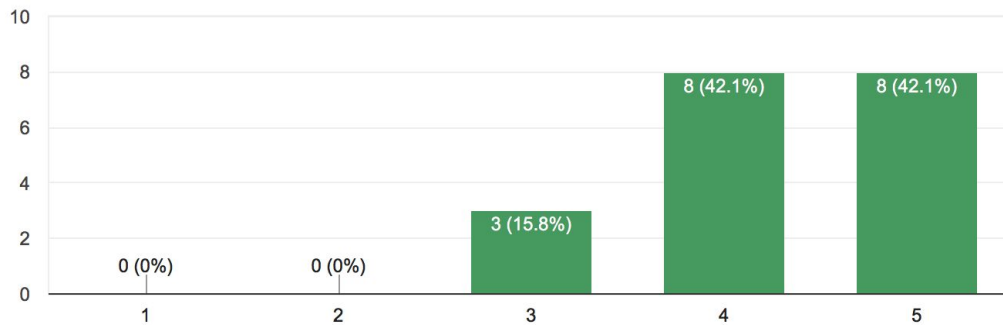
美味しい食事でした。

みんなと食べたい

全体的に昨年より食事内容のレベルが高く、実行委員だけに任せてしまい申し訳なくも感じた。
麺類、パン類ばかりだったので米食を入れてほしかった。

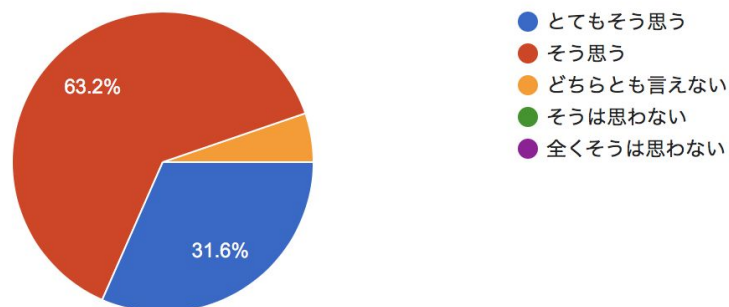
生活面の満足度

19件の回答



「ローバーリング」についての理解は深まりましたか

19件の回答



【その他意見など】

他県のローバーと交流を深め、自分のローバーリングを考え直すいい機会でした。とても楽しめました。全体的に詰まってる、という印象。特に二日目フォーラムは全体への共有という部分にも比重をおいてもよかったのかなと思う。班で深めることと個人で深めること、基本はそうなのかもしれないけど、やっぱり最後は全体も使うのがいいのになって思っちゃいました。一丁前にすみません。

大変充実した内容でした。参加できてよかったです。

とても楽しめたとし、指導者側の目線にも応用出来るような活動・企画ばかりでした！

魅力ある活動の一つなので忙しくてもまた、来年も行きたいです！

みんなと仲良くなるにはちょうどいい人数だなと思いました♪

進行がスムーズでよかったです。

とても楽しかったです。お風呂にも入れて嬉しかったです。ありがとうございました。

自分は2日目のフォーラム途中～キャンプファイアまでしかいられませんでした。短い時間でも楽しむことが出来たし、おそらく初日からフルで参加出来ればもっと楽しい時間を過ごせたと思います。ありがとうございました。

楽しかったです！

運営の人とも触れ合える機会を持ちたい！

2日目午前の活動報告会が時間的に押していたのもっとゆったりと実施できれば良いのではないかな。

次にやりたい企画があれば教えてください

7件の回答

夏期や冬期もやってほしい

今回みたいに、他のブロックで同じような内容をやっているのなら、スカイプでつないで、同じ内容を考えるとかな。

今回以上のものは思い浮かびません！

料理大会

ローバリング、スカウティングにかかわるスカウトソングの勉強会。

旅する

スキルレースをもう少しハイレベルにしても良いのではないかな。（手旗信号3文字程度、クモの巣を拡大等）全体ゲームで野営場を使ったかくれんぼをしたい。ボーイスカウト的な雪合戦大会でも良いのではないかな。

全体を通して改善点を教えてください

7件の回答

事前からいろいろ聞いていたので、準備は大丈夫かなって思ってましたが、しっかりとあわせてくる姿をみて、やはり地力が違うなと思い知らされました。

実行委員の皆さんとももっと交流できれば更に楽しいと思いました。

このアンケート自体のことになるのですが、少し長さのある文を入れようとすると書きづらいところがあったのでそこだけお願いします。

スケジュールがもう少し余裕があった方がいいと思いました。

スキルレースは、手旗が原画だと読みにくく、文字の方がよかったと思いました。ペア・ロープ結びは、パスした方が特になる結びになっていたと思います。ボーイ隊に特化したというよりも、ピーパー、カブのゲームである蜘蛛の巣くぐり、タイム計測やベンチャー的なパイオニアリングまで含まれていて、複合的で楽しいものになっていたと思います。フォーラムは、運営委員の人数不足もあるとは思いますが、ファシリテーターがいるとよかったと思います。キャンプファイヤは、普段聞き慣れない歌が多かったので、手引きや歌集などを添付するなどすると、より親切だったかと思います。

キャンプファイアの際、ネックチーフを頭に巻くということを入伝に聞いていたので、夕食のタイミングでそのような案内があると良いかと思います（急遽決まったことであれば仕方ないかと思いますが）

特になし。

その他、何かあればお聞かせください

6件の回答

0日目からおつかれさまでした。特に、さんざんいじられた中山さんと平子くんには、その気疲れたるや。でも、楽しかったです。他の実行委員のみなさまも大変お世話になりました。

各県連盟に正式なイベントとして開催通知をするのは大変骨のおれる作業だったと思います。実行委員の皆様の頑張りを引き継げるように、企画書や計画書のテンプレートを残しておく、スムーズかもしれません。RCJも構造改革をするなかで色々な環境が変わるかと思いますが、次年度以降もこうしたブロックのイベントが開催されることを願っております。実行委員の皆様、本当にありがとうございました。

三日間楽しかったです実行委員さん本当にありがとうございました！！

奉仕活動で屋根上の清掃をした際に上に飛び出たネジが靴底に刺さってしまって危険だったので、あらかじめ、奉仕の内容の告知か注意、もしくは安全靴が必要だと伝えていただきたかったです。

リーダーシップ論・組織論に関する、referenceが欲しいです。

参加人数が昨年より減ってしまったり人の行き来が慌ただしい面もあったが全体の人数が少ないことによって一体感がある行事になったと感じる。
ゲーム形式で競い合うことは久しぶりで楽しく班や他の参加者と過ごすことが出来た。
企画から準備、運営までご苦労様でした。